

遠野市社会福祉協議会 令和6年度事業報告

◇はじめに

I 令和6年度の概要

多様化する生活課題を抱える住民に寄り添うため、「地域福祉活動計画 2021」「中期経営計画 2021」に掲げる目標の達成に向けて「たすけあい ささえあう 福祉でとおのづくり」を基本方針とし、所要の事業に取り組みました。

併せて、持続可能な経営基盤を確立するため、生産性の向上と業務の効率化を目指し、引き続き「社協DX（デジタルトランスフォーメーション）」を推進しました。

1 法人全体「たすけあい、ささえあう、福祉でとおのづくり」の推進

(1) オール社協による連携・協働による地域福祉の推進

地域課題解決に向け、介護保険事業所職員も支え合いマップ作りや災害時要援護者の調査及び個別計画の作成など地域福祉課相談員との協働に努めました。

また、毎月定例で三役管理職会議を開催し、役員・職員間で各事業の課題、情報共有を図りました。

(2) 新たな拠点（遠野市まちおこしセンター）での市民交流サロンちょボラ、遠野市地域活動支援センター、遠野市ボランティア活動センターの事業推進

遠野まちおこしセンター（あすもあ遠野）の指定管理を受け、新たな拠点を整備しました。中心市街地の利点を生かし、障がい者の居場所づくりやボランティア活動の参加啓発に力を入れました。

2 総務企画

〔推進項目〕

(1) 勤怠管理システムの導入

システムの試行運用を経て、本格導入を実現し、事務負担の軽減を図りました。

(2) 人材の養成と確保、定着

将来の管理職を育成するため、主任級職員を対象に研修会を6回開催。法人の理念、役割を始め根拠法令や諸規程について研修しました。

(3) 第10回遠野市社会福祉大会の開催

多年にわたり社会福祉の増進に寄与した83個人、15団体を表彰。記念公演では認知症・成年後見制度について、カシオペア権利擁護支援センター職員の皆様による「特殊詐欺から友蔵を守れ！！」をご公演いただきました。

3 地域福祉

〔推進項目〕

(1) 地域福祉活動計画2021（R3～R7）の推進と進行管理

具体的事業を単年度の事業計画に盛り込み、取組を進めてきました。具体的な推進事業の進捗を評価するとともに、基本目標、重点項目に改めて立ち返り、事業推進のプロセスを大切に組み組みました。

(2) 遠野まちおこしセンター指定管理と新たな拠点によるちょボラの設置運営

遠野駅前にある遠野まちおこしセンター（あすもあ遠野）を拠点とし、地域住民が立ち寄りやすく、参加しやすい拠点づくりに努めました。駅前という立地を生かした「若者の福祉参加」の取組に力を入れ、高校生のボランティア参加を目的に啓発活動を実施しました。

(3) 重層的支援体制整備事業宮守地区の受託

令和3年度から重層的支援体制整備事業が始まり、丸ごと相談員の配置、包括化推進員の専従配置のもと、個別支援については制度の狭間をつなぎ、途切れることのない相談・支援体制の構築のため、多職種によるチーム支援を丁寧に重ねてきました。

今年度から宮守地区の丸ごと相談を追加で受託し、社会福祉法人ととり会との連携のもと、支援体制の整備に取り組みました。

4 在宅福祉

〔推進項目〕

(1) 令和6年度介護報酬改定に伴う体制整備

居宅介護支援事業所とおの、上郷、宮守において、予防プランのうち、「介護予防支援」の指定を新たに受け、業務を進めました。

一本化された介護職員処遇改善加算に対し、基本給の上乗せ及び新たな手当てを創設し、加算算定事業所全職員の処遇改善を行いました。

(2) 介護保険事業システムの有効活用と介護ロボット（見守りシステム）導入による介護事業所の生産性向上と負担軽減

システム内での書類保存、タブレット端末への記録の入力が定着し、ペーパーコストの削減及び不要な転記作業が減少したことにより、生産性の向上が図られました。

(3) 感染症・災害事業継続計画（BCP）に基づく事業運営

感染症BCPについては、新型コロナの5類移行から1年経過したことを受け、実態に見合った計画への修正を行いました。

災害BCPについては、策定直後に発生した地震において、発動基準の確認、職員行動基準の確認を行いました。訓練については、定期的に行っている避難訓練において、災害BCPを意識したものへ内容の変更を行いました。

Ⅱ 令和6年度事業 法人運営

1 法人運営部門としての総務企画課																									
事業名	事業計画（概要）	実施状況																							
（1）組織運営																									
法人運営	① 組織体制 法人全体の運営を3課1福祉センター10事業所とする ② 財務運営、管理 ア 月次単位及び四半期毎の経営状況の分析及び予算管理 ③ 組織・事業運営の適正化 ア 法人の公益性の徹底 イ 経営情報の適切な開示 ウ ガバナンスの強化 ④ 適切な人事管理 ア 計画的な職員採用、異動 ⑤ システムの包括的な連動構築の検討継続 ア 勤怠システムの導入 イ 各システム（勤怠・人事・給与・財務会計の連動を模索） ⑥ 雇用、処遇の改善 ア 最低賃金法の改正に伴う給料表の見直し検討 イ 定年延長の検討 ウ 外国人実習生受入れの検討	① 組織体制 3課1福祉センター10事業所で運営。 ② 財務運営、管理 四半期毎の経営状況の分析し、事業の効率化に努めた。 ③ 組織・事業運営の適正化 法人の公益性の徹底や経営情報の適切な開示に努めた。 ④ 適切な人事管理 介護保険法に基づく基準配置を念頭に、適正配置を実施。 職員採用では、有資格者4名を正職員として採用。また雇用の安定を目指し、正職員へ3名登用。 ⑤ システムの包括的な連動の構築 勤怠管理システムを導入。試験運用を経て本格運用し、事務処理負担の軽減を図った。 ⑥ 雇用、処遇の改善 最低賃金法に対応するため給料表の改正を実施。																							
（2）会議及び研修等の開催																									
会議の運営	① 会長事務局会議 ② 三役管理職会議 ③ 理事会 ④ 評議員会 ⑤ 監査	① 会長・事務局会議 毎月1回定例で開催し、諸課題等について協議した。 ② 三役・管理職会議 毎月1回定例で開催し、情報共有及び事業の進捗状況について協議した。 ③ 理事会（5回） <table border="1"> <thead> <tr> <th>理事会</th><th>開催日</th><th>出席者・内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1回</td><td rowspan="2">6月10日</td><td>理事10名、監事2名</td></tr> <tr> <td>議案第1号～第7号</td></tr> <tr> <td rowspan="2">第2回</td><td rowspan="2">6月25日</td><td>理事8名、監事2名</td></tr> <tr> <td>議案第8号</td></tr> <tr> <td rowspan="2">第3回</td><td rowspan="2">9月19日</td><td>理事11名、監事2名</td></tr> <tr> <td>議案第9号～第10号</td></tr> <tr> <td rowspan="2">第4回</td><td rowspan="2">12月16日</td><td>理事10名、監事2名</td></tr> <tr> <td>議案第11号～第13号</td></tr> <tr> <td rowspan="2">第5回</td><td rowspan="2">3月19日</td><td>理事10名、監事2名</td></tr> <tr> <td>議案第14号～第22号</td></tr> </tbody> </table>	理事会	開催日	出席者・内容	第1回	6月10日	理事10名、監事2名	議案第1号～第7号	第2回	6月25日	理事8名、監事2名	議案第8号	第3回	9月19日	理事11名、監事2名	議案第9号～第10号	第4回	12月16日	理事10名、監事2名	議案第11号～第13号	第5回	3月19日	理事10名、監事2名	議案第14号～第22号
理事会	開催日	出席者・内容																							
第1回	6月10日	理事10名、監事2名																							
		議案第1号～第7号																							
第2回	6月25日	理事8名、監事2名																							
		議案第8号																							
第3回	9月19日	理事11名、監事2名																							
		議案第9号～第10号																							
第4回	12月16日	理事10名、監事2名																							
		議案第11号～第13号																							
第5回	3月19日	理事10名、監事2名																							
		議案第14号～第22号																							

		④ 評議員会（４回） <table><tr><td>評議員会</td><td>開催日</td><td>出席者・内容</td></tr><tr><td>定 時</td><td>6 月 25 日</td><td>評議員 19 名、監事 2 名 議案第 1 号～第 5 号</td></tr><tr><td>第 2 回</td><td>9 月 27 日</td><td>評議員 20 名、監事 1 名 議案第 6 号</td></tr><tr><td>第 3 回</td><td>12 月 24 日</td><td>評議員 18 名、監事 2 名 議案第 7 号</td></tr><tr><td>第 4 回</td><td>3 月 27 日</td><td>評議員 19 名、監事 1 名 議案第 8 号～第 11 号</td></tr></table> ⑤ 監査（４回） <table><tr><td>監査会</td><td>開催日</td><td>内容</td></tr><tr><td>第 1 回</td><td>5 月 24 日</td><td>令和 5 年度決算監査</td></tr><tr><td>第 2 回</td><td>8 月 23 日</td><td>4 月～6 月分出納監査</td></tr><tr><td>第 3 回</td><td>11 月 22 日</td><td>7 月～9 月分出納監査</td></tr><tr><td>第 4 回</td><td>2 月 20 日</td><td>10 月～12 月分出納監査</td></tr></table>	評議員会	開催日	出席者・内容	定 時	6 月 25 日	評議員 19 名、監事 2 名 議案第 1 号～第 5 号	第 2 回	9 月 27 日	評議員 20 名、監事 1 名 議案第 6 号	第 3 回	12 月 24 日	評議員 18 名、監事 2 名 議案第 7 号	第 4 回	3 月 27 日	評議員 19 名、監事 1 名 議案第 8 号～第 11 号	監査会	開催日	内容	第 1 回	5 月 24 日	令和 5 年度決算監査	第 2 回	8 月 23 日	4 月～6 月分出納監査	第 3 回	11 月 22 日	7 月～9 月分出納監査	第 4 回	2 月 20 日	10 月～12 月分出納監査
評議員会	開催日	出席者・内容																														
定 時	6 月 25 日	評議員 19 名、監事 2 名 議案第 1 号～第 5 号																														
第 2 回	9 月 27 日	評議員 20 名、監事 1 名 議案第 6 号																														
第 3 回	12 月 24 日	評議員 18 名、監事 2 名 議案第 7 号																														
第 4 回	3 月 27 日	評議員 19 名、監事 1 名 議案第 8 号～第 11 号																														
監査会	開催日	内容																														
第 1 回	5 月 24 日	令和 5 年度決算監査																														
第 2 回	8 月 23 日	4 月～6 月分出納監査																														
第 3 回	11 月 22 日	7 月～9 月分出納監査																														
第 4 回	2 月 20 日	10 月～12 月分出納監査																														
各種委員会の開催	① 経営・資金管理委員 ② 福祉の森管理委員会 ③ ボランティア活動センター運営委員会 ④ 生活福祉資金貸付調査委員会 ⑤ たすけあい更生資金貸付運営委員会 ⑥ 心配ごと相談所運営委員会 ⑦ 成年後見制度法人後見事業運営委員会 ⑧ 第三者委員会 ⑨ 評議員選任・解任委員会 ⑩ 役員推薦委員会	各種委員会の開催 <table><tr><td>名 称</td><td>開催数</td></tr><tr><td>経営・資金管理委員会</td><td>2</td></tr><tr><td>福祉の森管理委員会</td><td>1</td></tr><tr><td>ボランティア活動センター運営委員会</td><td>1</td></tr><tr><td>生活福祉資金貸付調査委員会</td><td rowspan="2">1</td></tr><tr><td>たすけあい更生資金運営委員会</td></tr><tr><td>心配ごと相談所運営委員会</td><td>2</td></tr><tr><td>成年後見制度法人後見事業運営委員会</td><td>2</td></tr><tr><td>第三者委員会</td><td>1</td></tr><tr><td>評議員選任・解任委員会</td><td>1</td></tr><tr><td>役員推薦委員会</td><td>2</td></tr></table>	名 称	開催数	経営・資金管理委員会	2	福祉の森管理委員会	1	ボランティア活動センター運営委員会	1	生活福祉資金貸付調査委員会	1	たすけあい更生資金運営委員会	心配ごと相談所運営委員会	2	成年後見制度法人後見事業運営委員会	2	第三者委員会	1	評議員選任・解任委員会	1	役員推薦委員会	2									
名 称	開催数																															
経営・資金管理委員会	2																															
福祉の森管理委員会	1																															
ボランティア活動センター運営委員会	1																															
生活福祉資金貸付調査委員会	1																															
たすけあい更生資金運営委員会																																
心配ごと相談所運営委員会	2																															
成年後見制度法人後見事業運営委員会	2																															
第三者委員会	1																															
評議員選任・解任委員会	1																															
役員推薦委員会	2																															
（３）役職員研修会の開催																																
役職員研修の開催	① 県社協主催のセミナー等参加 ② 新任役員研修の実施	岩手県社協主催の令和 6 年度地域福祉推進トップセミナーに参加。 日時：令和 7 年 2 月 5 日（水）10 時～ 場所：盛岡八幡宮参集殿Ⅰ 参加：15 名（理事 8 名、監事 1 名、職員 6 名） 内容：「静岡県における法人間連携の取組について」「長泉町における法人間連携“ながいずみーる”の取り組みと社協の役割」ほか																														
（４）各種計画の進行管理																																
各種計画の推進	① 地域福祉活動計画 2021 進行管理 令和 3 年 4 月 1 日から（5 か年）	計画 4 年度として、具体的事業を令和 6 年度の事業計画に反映し、取組を進めた。																														

	② 中期経営計画 2021 進行管理 令和 3 年 4 月 1 日から（5 か年）	計画に基づき各項目ごと取組を進めた。 ・遠野市と社会福祉法人との人事交流 ・他法人との連携協働による事業開発（法人連絡会） ・ふれあいホーム指定管理料 ・学習の場の提供（体験、実習生受入） ・職員適正配置、職員数の管理 など ※厚生労働省老健局視察 8 月 28 日（水）厚生労働省老健局職員 4 名が来訪。法人連携による宮守拠点事業所の運営等について説明。 ※八幡平市社協役職員研修 10 月 18 日（金）八幡平市社協理事・職員 17 名来訪。中期経営計画の取組について意見交換等を実施。																																																																		
（5）総合福祉センターの管理運営																																																																				
管理運営	① 遠野市補助金による管理運営	【決算】12,909 千円（利用料収入含む） <table><tr><td></td><td>令和 6 年度</td><td>前年度対比</td></tr><tr><td>利用料収入</td><td>1,248,007 円</td><td>61,823 円減</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>15,860 人</td><td>754 人減</td></tr></table> 大規模展示会が 3 月に開催され、538 千円の収入を得た。 また、地下オイルタンク、自動ドア、引分幕等の修繕を実施した。		令和 6 年度	前年度対比	利用料収入	1,248,007 円	61,823 円減	利用者数	15,860 人	754 人減																																																									
	令和 6 年度	前年度対比																																																																		
利用料収入	1,248,007 円	61,823 円減																																																																		
利用者数	15,860 人	754 人減																																																																		
（6）関係機関及び福祉団体等との連携																																																																				
社協支部等及び ふるさとづくり 市民会議、地区センターとの連携	① 社協会費、共同募金事業への協力 ② 支部長等会議の開催 ③ 社協支部等の運営費、地域福祉活動費の助成 ④ 地域福祉懇談会及び地域福祉推進研修会の実施	①、③ 支部運営費・地域福祉活動費の確保 ア 社協会費・共同募金配分による活動費助成 【決算】3,834 千円（単位：円） <table><tr><td>支部名</td><td>社協会費</td><td>共募</td><td>合計 交付額</td></tr><tr><td>遠 野</td><td>806,300</td><td>207,000</td><td>1,013,300</td></tr><tr><td>綾 織</td><td>198,500</td><td>36,000</td><td>234,500</td></tr><tr><td>小 友</td><td>148,400</td><td>86,000</td><td>234,400</td></tr><tr><td>附馬牛</td><td>158,600</td><td>96,000</td><td>254,600</td></tr><tr><td>松 崎</td><td>447,200</td><td>91,000</td><td>538,200</td></tr><tr><td>土 淵</td><td>222,200</td><td>67,000</td><td>289,200</td></tr><tr><td>青 笹</td><td>252,800</td><td>89,000</td><td>341,800</td></tr><tr><td>上 郷</td><td>284,000</td><td>55,000</td><td>339,000</td></tr><tr><td>宮 守</td><td>234,200</td><td>32,000</td><td>266,200</td></tr><tr><td>達曽部</td><td>148,100</td><td>21,000</td><td>169,100</td></tr><tr><td>鱒 沢</td><td>133,100</td><td>21,000</td><td>154,100</td></tr><tr><td>全体合計</td><td>3,033,400</td><td>801,000</td><td>3,834,400</td></tr></table> イ 一人暮らし高齢者交流会実績 【決算】659 千円（単位：人） <table><tr><td rowspan="2">支部名</td><td rowspan="2">実施形式</td><td colspan="2">参加者</td></tr><tr><td>R 5</td><td>R 6</td></tr><tr><td>遠 野</td><td>区ごとに開催 交流 5、配布 10</td><td>414</td><td>428</td></tr><tr><td>綾 織</td><td>交流会</td><td>23</td><td>19</td></tr></table>	支部名	社協会費	共募	合計 交付額	遠 野	806,300	207,000	1,013,300	綾 織	198,500	36,000	234,500	小 友	148,400	86,000	234,400	附馬牛	158,600	96,000	254,600	松 崎	447,200	91,000	538,200	土 淵	222,200	67,000	289,200	青 笹	252,800	89,000	341,800	上 郷	284,000	55,000	339,000	宮 守	234,200	32,000	266,200	達曽部	148,100	21,000	169,100	鱒 沢	133,100	21,000	154,100	全体合計	3,033,400	801,000	3,834,400	支部名	実施形式	参加者		R 5	R 6	遠 野	区ごとに開催 交流 5、配布 10	414	428	綾 織	交流会	23	19
支部名	社協会費	共募	合計 交付額																																																																	
遠 野	806,300	207,000	1,013,300																																																																	
綾 織	198,500	36,000	234,500																																																																	
小 友	148,400	86,000	234,400																																																																	
附馬牛	158,600	96,000	254,600																																																																	
松 崎	447,200	91,000	538,200																																																																	
土 淵	222,200	67,000	289,200																																																																	
青 笹	252,800	89,000	341,800																																																																	
上 郷	284,000	55,000	339,000																																																																	
宮 守	234,200	32,000	266,200																																																																	
達曽部	148,100	21,000	169,100																																																																	
鱒 沢	133,100	21,000	154,100																																																																	
全体合計	3,033,400	801,000	3,834,400																																																																	
支部名	実施形式	参加者																																																																		
		R 5	R 6																																																																	
遠 野	区ごとに開催 交流 5、配布 10	414	428																																																																	
綾 織	交流会	23	19																																																																	

		<table><tr><td>小 友</td><td>交流会</td><td>23</td><td>29</td></tr><tr><td>附馬牛</td><td>交流会</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>松 崎</td><td>配布形式</td><td>120</td><td>136</td></tr><tr><td>土 淵</td><td>交流会</td><td>24</td><td>25</td></tr><tr><td>青 笹</td><td>交流会</td><td>22</td><td>23</td></tr><tr><td>上 郷</td><td>交流会</td><td>37</td><td>42</td></tr><tr><td>宮 守</td><td>配布形式</td><td>103</td><td>100</td></tr><tr><td>達曽部</td><td>配布形式</td><td>49</td><td>57</td></tr><tr><td>鱒 沢</td><td>配布形式</td><td>28</td><td>27</td></tr><tr><td>全 体 合 計</td><td></td><td>851</td><td>895</td></tr></table> 支部が交流形式と配付形式を選択し実施。 交流会は 1,500 円/1 人、配付形式は 500 円/1 人をそれぞれ交付。 ② 支部長・事務局長・地区センター所長会議の開催 ア 第 1 回 6 月 2 8 日（金） イ 第 2 回 2 月 2 8 日（金） ④ 地域福祉懇談会及び地域福祉推進研修会の実施 地域と連携した研修会開催は未実施。	小 友	交流会	23	29	附馬牛	交流会	8	9	松 崎	配布形式	120	136	土 淵	交流会	24	25	青 笹	交流会	22	23	上 郷	交流会	37	42	宮 守	配布形式	103	100	達曽部	配布形式	49	57	鱒 沢	配布形式	28	27	全 体 合 計		851	895
小 友	交流会	23	29																																							
附馬牛	交流会	8	9																																							
松 崎	配布形式	120	136																																							
土 淵	交流会	24	25																																							
青 笹	交流会	22	23																																							
上 郷	交流会	37	42																																							
宮 守	配布形式	103	100																																							
達曽部	配布形式	49	57																																							
鱒 沢	配布形式	28	27																																							
全 体 合 計		851	895																																							
福祉基金運用益による福祉活動の助成	① 福祉基金設置運営規則第 7 条に基づく助成と継続事業の充実	① 社協事業・運営費への活用 6 事業及び運営費 2,494 千円 うち活動助成ボランティア 7 団体 680 千円																																								
遠野市社会福祉法人等連絡会	① 法人等連絡会の事務局機能 ② 市民向け出前講座の浸透と活動支援 ③ 実習生の受入指導にかかる法人間の連携	① 法人等連絡会の事務局機能 ア 総会 日時：令和 6 年 4 月 25 日（木）13：30～ 場所：総合福祉センター会議室 内容：役員改選、令和 5 年度事業報告、令和 6 年度事業計画（案）について イ 臨時総会（書面決議） 内容：会員の退会、入会について ウ 幹事会 日時：令和 6 年 7 月 29 日（月）13：30～ 場所：総合福祉センター会議室 内容：市民向け講座実施状況、実習指導カリキュラムの連携について ② 市民向け出前講座実績 <table><tr><td>実施回数</td><td>12 回</td></tr><tr><td>依頼団体数</td><td>10 団体</td></tr><tr><td>対象者数</td><td>298 人</td></tr><tr><td>講師派遣法人</td><td>遠野松寿会（1 回） 亮和会（1 回） 保育協会（1 回） 遠野市社協（9 回）</td></tr><tr><td>講師数</td><td>延 24 人</td></tr></table> 主な講座内容 ・認知症、体操、食事、手作りおもちゃ、ハンディキャップ体験、成年後見、防犯ほか	実施回数	12 回	依頼団体数	10 団体	対象者数	298 人	講師派遣法人	遠野松寿会（1 回） 亮和会（1 回） 保育協会（1 回） 遠野市社協（9 回）	講師数	延 24 人																														
実施回数	12 回																																									
依頼団体数	10 団体																																									
対象者数	298 人																																									
講師派遣法人	遠野松寿会（1 回） 亮和会（1 回） 保育協会（1 回） 遠野市社協（9 回）																																									
講師数	延 24 人																																									

		③ 実習生の受入指導連携 実習指導連携分科会の開催 日時：令和6年11月15日（金）13：30～ 場所：総合福祉センター会議室 内容：実習生受入に伴う指導カリキュラムの課題について
福祉バザーへの協力	① 実行委員会で開催 ② 市民からの寄附物品を販売し、益金は福祉団体等の活動財源及び「共同募金」への寄附となる。 ③ 市民の福祉に対する関心や理解を深め、地域での「新たな支え合い」を推進するため、関係団体や中高生と連携して開催する。 ④ 更なる集客を見越し、福祉団体以外の参入も含めた新たなバザー形態の検討及び実施	① 実行委員会の開催回数 2回（5/9、7/20） ② 福祉バザー実施状況 遠野会場と宮守会場の2会場で各福祉団体による物品販売を実施。 ア 遠野会場 9月8日（日） 総合福祉センターを会場に実施。オープニングアトラクションでは、遠野北小の薬研太鼓を披露。 また、食品販売については3つの外部団体が出店し販売を実施した。 イ 宮守会場 10月20日（日） 躍進みやもり祭内で開催。福祉用具展示も合わせて実施した。 ③ 福祉バザーにおける共同募金への寄附額 100,221円（前年度実績：107,952円）
（7）社会福祉大会の開催		
第10回遠野市社会福祉大会	① 実行委員会で開催 ② 本市の社会福祉の増進に貢献された方々に敬意を表するとともに、社会福祉の一層の充実と発展を目指すことを目的に開催。	① 実行委員会の開催 3回/年 ② 開催：11月29日（金）13時～ 場所：あえりあ遠野 交流ホール 第1部：式典 被表彰者 98名（個人 83名、15団体） 第2部：記念公演 「特殊詐欺から友蔵を守れ！」 出演：劇団 友蔵と仲間たち ※加戸ア権利擁護センター職員（二戸市） ※当日参加者は、実行委員等含め 227名
（8）人材確保と育成・支援		
人材確保対策	① 外国人実習生受入れ検討 ② 各種学校との情報交換 ③ 就職ガイダンスへの参加 ④ 情報発信（HP・福祉だより等） ⑤ 遠野市社会福祉法人等連絡会での連携協働	外国人技能実習生について、研修参加や市内先進団体との意見交換を実施。また、市内高校生企業見学会や就職ガイダンス、とおのしごと展へ出展等、積極的にPR活動を展開した。 法人連絡会では、市内法人との意見交換を実施。
処遇改善と定着	① 最低賃金法の動向を踏まえた給料表の見直し検討 ② 処遇改善対象外職員の賃金格差縮小	① 給料表の改定を実施（4月1日～） ② 加算対象外職員については、賞与にて格差是正

	③ 定年延長について検討	③ 継続検討
職員研修の充実	① 職員研修の実施による資質向上 ・職種別専門研修 ・職務別の組織内研修 ・衛生管理（メンタルヘルス等）研修 ・各 BCP や虐待防止等の法的義務研修の実施 ② 資格取得の奨励、支援 ・各種資格取得のフォローアップ ・受験対策支援	① 職員研修 ・主任級職員対象研修（対象 17 名、6 回開催） ・メンタルヘルス研修（51 名） 「対人援助職と心の健康」 講師：県産業保健総合支援センター 産業保健相談員 山田恵子 氏 ② 資格取得支援 ・社会福祉士 1 名合格 ・介護福祉士及び介護支援専門員合格者 0 名 ・社会福祉主事 2 名取得
奨学金返済助成事業	新卒者雇用促進、現職員離職防止 ・助成率 1/2（年間総返済額） ・助成上限 96,000 円／人 ※遠野市奨学金返済支援制度（144,000 円）の 2/3 の額。 ・助成期間 最大 5 年	自身の奨学金を返済している職員に対し、返済額の一部を助成 ・助成決定者 9 名（5 年目：6 名、3 年目：1 名、2 年目：2 名） ・助成額合計 649 千円

地域福祉

1 相談支援体制の充実		
事業名	事業計画（概要）	実施状況
（1）途切れることのない相談・支援体制の構築		
相談支援関係	複雑化、複合化した個人・世帯を置き去りにせず、必要な支援を届けるために相談員各々のアセスメント力や気づきの視点等のスキルアップを目的に生活支援チーム内での事例検討（内部研修）を実施する。 ① 社協内の相談支援体制整備と相談職員の育成 ② 課題解決に向けた関係機関、地域住民との連携強化	市内 9 町に丸ごと相談員を配置し、11 地区全町の市民の困りごとに対応した。 複雑・複合化したケースの支援では支援関係機関が支援チームを構成し、情報の共有、支援の方向性、手立てを役割分担し、ケースの伴走支援に努めた。 チームアプローチは、多職種による連携や多機関の協働が重要な基盤であり、人材を組織的に育成するとともに市全体で包括的な相談支援体制の構築強化に効果的である。 ① 丸ごと相談員会議 12 回 事例検討・CSW 研究 4 回 ② 他機関主催の会議等での連携 事例検討会 個別ケア会議 地域ケア推進会議 小地域ケア会議
我が事・丸ごと地域づくり推進事業	（遠野市受託事業） 多機関協働事業 ① 包括化推進員 1 名を健康福祉の里に配置 ② 複雑化・複合化した様々な課題解決	【決算】総額 46,830 千円 ① 制度の狭間をつなぎ、途切れることのない相談、支援体制の構築を強化するため包括化推進員を健康福祉の里（福祉課）に配置（令和 4 年度～）

の支援のため以下を実施 ア 本人等に対する支援の実施 イ 重層的支援会議の開催 ウ 遠野市支援会議への協力 エ 支援関係機関・包括的相談支援事業所との連携 オ 丸ごと相談員に対する支援 カ 研修会実施・有識者等との連携	② 複雑化・複合化した様々な課題解決の支援のため以下を実施 ア 相談対応 (ア) 包括的相談支援事業者 延 29 件 (イ) その他支援関係機関 延 38 件 (ウ) チーム会議 33 回 (実人数 11 件) イ 重層的支援会議の開催 12 回 (ア) 多機関協働事業プラン 3 件 (イ) アウトリーチプラン 2 件 ウ 遠野市支援会議への協力 12 回 エ 各種会議・研修会への参加 オ 丸ごと相談員に対する支援 (ア) 定例会議 (イ) まるごと会議 (ウ) 事例検討会 (エ) 個別相談 カ 研修会の企画・開催 遠野市相談支援関係機関職員等スキルアップ研修会 (ア) 問題解決しない事例検討会 12 月 12 日 参加者：36 名 (イ) 寄り添う（ひきこもり）研修会 3 月 25 日 参加者：46 名																																												
継続的支援事業（丸ごと相談員） ① 地区センターへ丸ごと相談員配置の継及び他法人の丸ごと相談員との連携・協力 新 令和 6 年度からともり会との連携により宮守地区を受任 ② 相談支援事業 ア ニーズの把握とマッチング イ 関係機関との連携 ウ プラン作成 ③ 参加支援事業 ア 多様な機関との連携 イ 地域づくり団体の活動への協力及び参加 ④ 地域づくりに向けた支援、居場所を通じた孤立防止と、人と人が支え合うネットワークづくり	① 相談支援事業 相談件数 <table><tr><td></td><td>R6 年度</td><td>R5 年度</td><td>前年度対比</td></tr><tr><td>新規</td><td>1,237</td><td>1,334</td><td>△97</td></tr><tr><td>継続</td><td>2,549</td><td>3,586</td><td>△1,037</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,786</td><td>4,920</td><td>△1,134</td></tr></table> 相談方法内訳 <table><tr><td></td><td>R6 年度</td><td>R5 年度</td><td>前年度対比</td></tr><tr><td>電話・FAX</td><td>966</td><td>1,597</td><td>△631</td></tr><tr><td>メール</td><td>25</td><td>54</td><td>△29</td></tr><tr><td>訪問</td><td>1,928</td><td>1,780</td><td>148</td></tr><tr><td>来所</td><td>617</td><td>804</td><td>△187</td></tr><tr><td>その他</td><td>250</td><td>685</td><td>△435</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,786</td><td>4,920</td><td>△1,134</td></tr></table> ※相談の集計方法を改めたことにより、前年度より、相談件数が減少したが、宮守地区が入ったことで、訪問件数が増えた。 ② 実態把握調査件数 628 件 相談のあった世帯、65 歳以上の世帯を中心に調査。 ③ 各地域の集まりに参加し、地域づくりの団体と連携し活動した。 ④ 支え合いマップづくりの研修会を開催し、防災マップづくりと合わせて、13 回実施。日程調整ができず、実施できない地域もあったため、次年度取り組んでいく。 子ども食堂に関心のある市民・団体を対象に子ども食堂の研修会をインクルいわてを講師に開催、子ども食堂を遠野地区で開催した。		R6 年度	R5 年度	前年度対比	新規	1,237	1,334	△97	継続	2,549	3,586	△1,037	合計	3,786	4,920	△1,134		R6 年度	R5 年度	前年度対比	電話・FAX	966	1,597	△631	メール	25	54	△29	訪問	1,928	1,780	148	来所	617	804	△187	その他	250	685	△435	合計	3,786	4,920	△1,134
	R6 年度	R5 年度	前年度対比																																										
新規	1,237	1,334	△97																																										
継続	2,549	3,586	△1,037																																										
合計	3,786	4,920	△1,134																																										
	R6 年度	R5 年度	前年度対比																																										
電話・FAX	966	1,597	△631																																										
メール	25	54	△29																																										
訪問	1,928	1,780	148																																										
来所	617	804	△187																																										
その他	250	685	△435																																										
合計	3,786	4,920	△1,134																																										

生活困窮者自立促進支援事業	(遠野市受託事業) ① 生活困窮者自立促進支援事業 遠野健康福祉の里内に専任相談支援員 4 名を配置し、生活困窮者や困窮に陥る恐れのある人等を対象に包括的相談支援を実施する。 ② 事業内容 ア 自立相談支援事業 イ 家計改善支援事業 ウ 就労準備支援事業 ③ 関連事業 ア 生活困窮者食料支援事業 イ 居場所・活躍支援 (ア) 無料職業紹介事業 (イ) 就労を見越した居場所支援 (ウ) 新ボランティア受入先の開拓 未就労者の就労体験の場の開拓 ウ フリースペースふらっと運営 (ア) ひきこもり当事者支援 (イ) ひきこもり家族会との関係性継続 ④ 関係機関との連携 ア IWATE・あんしんサポート事業 イ フードバンク岩手との連携 ウ ボランティアセンター、各地区丸ごと相談員との連携 エ 市外社会福祉協議会 ⑤ 相談会開催 ア 関係機関との合同相談会企画開催	【決算】 20,514 千円 ① 生活困窮の背景は複合的な課題を有し、個別支援の他、世帯支援が必要であり、入口相談支援から多機関連携、つなぎ支援に努め包括的相談支援を実施した。 就労準備支援事業は 3 年目であり、事業利用により 2 名が就労決定、定着となった。 ア 新規相談 56 件 【内訳】 来庁 10、電話 9、関係機関 37 イ 対応延べ人数 412 件 ウ 相談件数 976 件 【内訳】 訪問 215、来庁 235、電話 526 エ 関係者連携 2,338 件 ② 昨年度に引き続き、家計再生プランと就労準備支援プログラムの作成に取り組み、家計支援と就労支援が循環するように努めた。 ア 自立支援プラン作成数 11 件 【内訳】 実人数 11 (新規 5・再作成 6) イ 家計再生プラン作成数 9 件 【内訳】 実人数 8 (新規 6・再作成 3) ウ 就労準備支援プログラム作成数 2 件 【内訳】 実人数 2 (新規 1・再作成 1) エ プラン終結数 19 件 【内訳】 自立 10、家計 5、就労 4 オ 自立支援調整会議開催 12 回 ③ 関連事業 ア 福祉だよりへの掲載で食料提供協力の発信に努めた。 (ア) フードドライブ協力団体 8 件 (イ) 食料提供 68 件 (フードポスト 28、個人 23、企業 17) (ウ) フードポスト増設対応 (ちょボラ) (エ) 食料支援 33 世帯 食料支援時には自宅訪問で実態把握、調理能力や体調確認を行った。 イ 足の確保、交通手段の課題がある方が多いことから、地域における受け皿開拓のため、企業理解を得られるよう発信した。また、生活困窮や就労準備支援の理解者を増やすことを目的に、短期就労先やボランティア体験の受け皿を引き続き開拓していく。 (ア) 無料職業紹介事業 無料職業紹介事業求人先 13 件 求人件数 延 114 件 求職件数 9 件 マッチング件数 10 件
----------------------	---	---

		(イ) 就労を見越した居場所 3 件 ・丸ごと相談員との連携で、ふれあいホームの居場所開拓。新聞たたみ作業。 ・「工房一人の手」協力のもと、調理実習。 (ウ) 薪ボランティア受入先の開拓 2 件 ふれあいホームのボランティア（入浴補助、新聞たたみ） ウ フリースペースふらっと開催 21 回 (ア) 利用者延べ 20 名 （市外当事者 1 名、家族等 3 名） ※令和 6 年 11 月から、遠野市フリースペースカフェに統合。 (イ) 不登校を考える親の会「たんぽぽ会」ホップ和紙作業見学 3 回 ④ 関係機関との連携 ア IWATE あんしんサポート支援 4 件 県社協との連携、市内あんしんサポート相談員との顔の見える関係性構築に努めた。 イ フードバンク子ども応援プロジェクトにて、フードバンク岩手との連携継続、食品搬入訪問を実施した。(2 回) ウ 丸ごと相談員、ボランティア活動センターとの連携で、未就労者の就労体験の場の開拓と就労を見越した居場所支援を目標とし、地域にある社会資源の掘り起こしをしている。 エ 市外社協（大船渡市）と連携実施。 就労準備支援事業研修 ⑤ くらし・あんしん相談会開催（5 回）												
心配ごと相談所運営事業	① 心配ごと相談所運営（自主事業） 市民の困りごとや悩みを受け止め、問題解決に向け支援 ア 専任相談員の配置 2 名 イ 弁護士による無料相談 遠野ひまわり基金法律事務所弁護士の協力 ウ 職員による相談受付 随時	【決算】260 千円 <table> <tr> <th></th><th>R6 年度</th><th>R5 年度</th></tr> <tr> <td>開設日数</td><td>38 日</td><td>36 日</td></tr> <tr> <td>相談件数 (弁護士)</td><td>58 件 (内 47 件)</td><td>58 件 (内 43 件)</td></tr> <tr> <td>相談内容</td><td> 生計 4 住宅 3 職業・生計 2 家族 5 離婚 2 医療 1 人権・法律 2 財産 29 事故 1 心身障害児者福祉 1 高齢者福祉 1 その他 7 </td><td> 生計 1 住宅 2 職業・生計 4 家族 1 離婚 3 医療 1 人権・法律 1 財産 39 年金 1 母子保健福祉 1 高齢福祉 1 その他 3 </td></tr> </table>		R6 年度	R5 年度	開設日数	38 日	36 日	相談件数 (弁護士)	58 件 (内 47 件)	58 件 (内 43 件)	相談内容	生計 4 住宅 3 職業・生計 2 家族 5 離婚 2 医療 1 人権・法律 2 財産 29 事故 1 心身障害児者福祉 1 高齢者福祉 1 その他 7	生計 1 住宅 2 職業・生計 4 家族 1 離婚 3 医療 1 人権・法律 1 財産 39 年金 1 母子保健福祉 1 高齢福祉 1 その他 3
	R6 年度	R5 年度												
開設日数	38 日	36 日												
相談件数 (弁護士)	58 件 (内 47 件)	58 件 (内 43 件)												
相談内容	生計 4 住宅 3 職業・生計 2 家族 5 離婚 2 医療 1 人権・法律 2 財産 29 事故 1 心身障害児者福祉 1 高齢者福祉 1 その他 7	生計 1 住宅 2 職業・生計 4 家族 1 離婚 3 医療 1 人権・法律 1 財産 39 年金 1 母子保健福祉 1 高齢福祉 1 その他 3												

		① 心配ごと相談所運営委員会の開催 ア 第1回運営委員会 5月31日(金) 令和5年度実績報告・令和6年度運営方針等 イ 第2回運営委員会 3月4日(火) 令和6年度実績報告・令和7年度運営方針等																																																																		
資金貸付関係	① 低所得者、障がい者及び高齢者等に対する生活に必要な資金貸付と相談支援。コロナ特例貸付を含む債権管理と借受人へのフォローアップ支援 ア 生活福祉資金貸付事業 イ たすけあい更生資金貸付事業(自主事業) (ア) 貸付相談受付と償還支援 (イ) 自立生活相談窓口との連携 (ウ) 事務手続き (エ) 生活福祉資金貸付調査委員会・たすけあい更生資金貸付運営委員会開催	【決算】5,206千円(県社協受託事業) ① 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業) ア 貸付相談 <table><tr><th>年度</th><th>実人数</th><th>延件数</th><th>貸付件数</th></tr><tr><td>R6年度</td><td>21名</td><td>102件</td><td>8件</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>35名</td><td>164件</td><td>6件</td></tr></table> 貸付実績8件 貸付総額9,357千円 イ 総合支援資金・特例 令和5年度及び令和6年度の貸付実績なし ウ 緊急小口資金・特例 <table><tr><th>年度</th><th>件数</th><th>貸付金額</th></tr><tr><td>R6年度</td><td>0件</td><td>0円</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>2件</td><td>200千円</td></tr></table> エ 福祉費 <table><tr><th>年度</th><th>件数</th><th>貸付金額</th></tr><tr><td>R6年度</td><td>1件</td><td>730千円</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>1件</td><td>850千円</td></tr></table> 障がい者福祉用具購入費1件 オ 教育支援資金 <table><tr><th>年度</th><th>件数</th><th>貸付金額</th></tr><tr><td>R6年度</td><td>7件</td><td>8,627千円</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>3件</td><td>2,696千円</td></tr></table> 大学・専門等4件、高校3件 カ 滞納世帯への償還指導 償還指導面接9月10日実施。 県社協が来庁し、対象件数32件に対し、出席12件を面接対応。また2件の訪問対応を行った キ コロナ特例フォローアップ支援 3回以上滞納者へ架電、訪問を中心に対応し、状況確認のうえ償還免除申請等を支援した。 (7) 償還免除手続き 5件 <table><tr><th>資金名</th><th>件数</th><th>免除額</th><th>免除理由</th></tr><tr><td>緊急小口</td><td>3</td><td>458,350</td><td>非課税1 破産2</td></tr><tr><td>総合支援</td><td>2</td><td>740,000</td><td>非課税2</td></tr></table> (イ) 少額返済手続き 緊急小口 3件 (ロ) 償還猶予手続き なし (エ) 令和6年度末償還残数 <table><tr><th>資金名</th><th>R5末</th><th>R6完了</th><th>R6免除</th><th>R6末</th></tr><tr><td>緊急小口</td><td>37</td><td>11</td><td>2</td><td>24</td></tr><tr><td>総合支援</td><td>11</td><td>1</td><td>0</td><td>10</td></tr></table>	年度	実人数	延件数	貸付件数	R6年度	21名	102件	8件	R5年度	35名	164件	6件	年度	件数	貸付金額	R6年度	0件	0円	R5年度	2件	200千円	年度	件数	貸付金額	R6年度	1件	730千円	R5年度	1件	850千円	年度	件数	貸付金額	R6年度	7件	8,627千円	R5年度	3件	2,696千円	資金名	件数	免除額	免除理由	緊急小口	3	458,350	非課税1 破産2	総合支援	2	740,000	非課税2	資金名	R5末	R6完了	R6免除	R6末	緊急小口	37	11	2	24	総合支援	11	1	0	10
年度	実人数	延件数	貸付件数																																																																	
R6年度	21名	102件	8件																																																																	
R5年度	35名	164件	6件																																																																	
年度	件数	貸付金額																																																																		
R6年度	0件	0円																																																																		
R5年度	2件	200千円																																																																		
年度	件数	貸付金額																																																																		
R6年度	1件	730千円																																																																		
R5年度	1件	850千円																																																																		
年度	件数	貸付金額																																																																		
R6年度	7件	8,627千円																																																																		
R5年度	3件	2,696千円																																																																		
資金名	件数	免除額	免除理由																																																																	
緊急小口	3	458,350	非課税1 破産2																																																																	
総合支援	2	740,000	非課税2																																																																	
資金名	R5末	R6完了	R6免除	R6末																																																																
緊急小口	37	11	2	24																																																																
総合支援	11	1	0	10																																																																

		② たすけあい更生資金貸付事業 ア 相談・貸付実績 <table><tr><td>年度</td><td>実人数</td><td>貸付件数</td><td>貸付金額</td></tr><tr><td>R6 年度</td><td>7 名</td><td>1 件</td><td>45 千円</td></tr><tr><td>R5 年度</td><td>3 名</td><td>0 件</td><td>0 円</td></tr></table> 自立生活相談窓口との連携対応により貸付に至らないケースが多い。 イ 償還実績 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">償還金額</th><th colspan="2">年度末貸付残</th></tr><tr><th>件数</th><th>金額</th></tr><tr><td>R6 年度</td><td>96 千円</td><td>4 件</td><td>89 千円</td></tr><tr><td>R5 年度</td><td>46 千円</td><td>6 件</td><td>140 千円</td></tr></table> ③ 貸付相談、その後の償還計画等について、自立生活相談窓口とも連携し対応した。 ④ 生活福祉資金・たすけあい更生資金貸付運営委員会の開催 5 月 31 日	年度	実人数	貸付件数	貸付金額	R6 年度	7 名	1 件	45 千円	R5 年度	3 名	0 件	0 円	年度	償還金額	年度末貸付残		件数	金額	R6 年度	96 千円	4 件	89 千円	R5 年度	46 千円	6 件	140 千円																																								
年度	実人数	貸付件数	貸付金額																																																																	
R6 年度	7 名	1 件	45 千円																																																																	
R5 年度	3 名	0 件	0 円																																																																	
年度	償還金額	年度末貸付残																																																																		
		件数	金額																																																																	
R6 年度	96 千円	4 件	89 千円																																																																	
R5 年度	46 千円	6 件	140 千円																																																																	
(2) 権利擁護の推進																																																																				
釜石・遠野地域成年後見センター遠野サテライトの運営事業	① 釜石・遠野地域成年後見センター遠野サテライトの運営（受託事業） 判断能力が不十分なために意思決定が困難な方の権利を守るため、相談支援、権利擁護の啓蒙活動、支援のネットワーク構築等を行う ア 専任職員 1 名の配置 イ 成年後見制度周知活動 ウ 相談対応、成年後見制度利用申立書類作成支援 エ 市民後見人のフォローアップ、相談対応	【決算】5,426 千円（釜石市社協受託事業） ① 専任職員 1 名の配置 専任職員を配置し、来所、電話、訪問等相談対応を実施 ② 相談対応、成年後見制度利用申立支援 ア 相談対応件数（延べ） 単位：件 <table><tr><th>内 容</th><th>R6 年度</th><th>R5 年度</th></tr><tr><td>電話</td><td>21</td><td>34</td></tr><tr><td>来所</td><td>29</td><td>49</td></tr><tr><td>訪問</td><td>28</td><td>39</td></tr><tr><td>関係機関</td><td>117</td><td>155</td></tr><tr><td>カンファ</td><td>25</td><td>36</td></tr><tr><td>計</td><td>220</td><td>313</td></tr></table> イ 相談内容（重複あり） 単位：件 <table><tr><th>内 容</th><th>R6 年度</th><th>R5 年度</th></tr><tr><td>制度について</td><td>146</td><td>181</td></tr><tr><td>財産管理</td><td>87</td><td>98</td></tr><tr><td>身上保護</td><td>55</td><td>71</td></tr><tr><td>相続</td><td>20</td><td>31</td></tr><tr><td>後見業務</td><td>0</td><td>3</td></tr><tr><td>権利侵害</td><td>0</td><td>2</td></tr><tr><td>情報共有</td><td>183</td><td>224</td></tr><tr><td>その他</td><td>70</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>561</td><td>610</td></tr></table> ウ 相談経路（重複あり） 単位：件 <table><tr><th>内 容</th><th>R6 年度</th><th>R5 年度</th></tr><tr><td>本人</td><td>23</td><td>33</td></tr><tr><td>親族</td><td>50</td><td>78</td></tr><tr><td>住民</td><td>0</td><td>5</td></tr><tr><td>行政</td><td>48</td><td>45</td></tr></table>	内 容	R6 年度	R5 年度	電話	21	34	来所	29	49	訪問	28	39	関係機関	117	155	カンファ	25	36	計	220	313	内 容	R6 年度	R5 年度	制度について	146	181	財産管理	87	98	身上保護	55	71	相続	20	31	後見業務	0	3	権利侵害	0	2	情報共有	183	224	その他	70	0	計	561	610	内 容	R6 年度	R5 年度	本人	23	33	親族	50	78	住民	0	5	行政	48	45
内 容	R6 年度	R5 年度																																																																		
電話	21	34																																																																		
来所	29	49																																																																		
訪問	28	39																																																																		
関係機関	117	155																																																																		
カンファ	25	36																																																																		
計	220	313																																																																		
内 容	R6 年度	R5 年度																																																																		
制度について	146	181																																																																		
財産管理	87	98																																																																		
身上保護	55	71																																																																		
相続	20	31																																																																		
後見業務	0	3																																																																		
権利侵害	0	2																																																																		
情報共有	183	224																																																																		
その他	70	0																																																																		
計	561	610																																																																		
内 容	R6 年度	R5 年度																																																																		
本人	23	33																																																																		
親族	50	78																																																																		
住民	0	5																																																																		
行政	48	45																																																																		

		<table><tr><td>社協</td><td>19</td><td>40</td></tr><tr><td>福祉関係</td><td>32</td><td>52</td></tr><tr><td>医療関係</td><td>11</td><td>11</td></tr><tr><td>司法関係</td><td>6</td><td>12</td></tr><tr><td>後見人等</td><td>28</td><td>28</td></tr><tr><td>その他</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>217</td><td>304</td></tr></table> 申立書類作成支援については 14 名の実施 ③ 市民後見人の育成、フォローアップ、相談対応 令和 6 年度釜石・遠野地域成年後見センター市民後見人フォローアップ研修実施 第 1 回 9 月 9 日、遠野市（二戸合同） 第 2 回 11 月 13 日、釜石市 ④ 釜石遠野地域成年後見ネットワーク会議 成年後見ネットワーク会議を開催し制度の周知活動や啓発活動を行った。 第 1 回 7 月 19 日、遠野市 第 2 回 11 月 22 日、大槌町 第 3 回 2 月 20 日、釜石市 ⑤ 権利擁護市民セミナーの実施 市民を対象に、住み慣れた地域で最後まで自分らしく過ごすことができるよう、権利擁護普及啓発活動としてセミナーを開催。 実施日 12 月 3 日 内 容 地域の司法書士・行政関係者から相続、空き家、ACP についての講義 ⑥ 関係者等によるモニタリング会議の実施 関係機関、行政への情報共有を目的として全 12 回実施した。	社協	19	40	福祉関係	32	52	医療関係	11	11	司法関係	6	12	後見人等	28	28	その他	0	0	計	217	304			
社協	19	40																								
福祉関係	32	52																								
医療関係	11	11																								
司法関係	6	12																								
後見人等	28	28																								
その他	0	0																								
計	217	304																								
成年後見制度法人後見事業	① 成年後見制度法人後見事業（自主事業） 認知症や精神障害、知的障害など判断能力が不十分なために意思決定が困難な人の権利を守るため、法人として成年後見人等を受任し財産管理や身上保護を行う ア 受任事務の実施 （ア）面接、本人状況確認 （イ）親族との情報共有 （ウ）財産管理 （エ）家庭裁判所との連携、定期報告	【決算】3,400 千円（後見報酬） ① 新規相談対応 1 件 家庭裁判所からの相談。支援者不在の認知症高齢者について、受任可能者が不在であることから、当法人に受任依頼の相談あり。 ② 受任事務の実施 新規受任件数 単位：件 <table><tr><td>年度</td><td>受任数</td><td>内訳</td></tr><tr><td>R6 年度</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>R5 年度</td><td>2</td><td>後見 2</td></tr><tr><td>R4 年度</td><td>4</td><td>後見 3、保佐 1</td></tr><tr><td>R3 年度</td><td>4</td><td>後見 3、保佐 1</td></tr><tr><td>R2 年度</td><td>3</td><td>後見 2、保佐 1</td></tr><tr><td>R1 年度</td><td>1</td><td>後見 1</td></tr><tr><td>H26 年度</td><td>1</td><td>保佐 1</td></tr></table>	年度	受任数	内訳	R6 年度	0		R5 年度	2	後見 2	R4 年度	4	後見 3、保佐 1	R3 年度	4	後見 3、保佐 1	R2 年度	3	後見 2、保佐 1	R1 年度	1	後見 1	H26 年度	1	保佐 1
年度	受任数	内訳																								
R6 年度	0																									
R5 年度	2	後見 2																								
R4 年度	4	後見 3、保佐 1																								
R3 年度	4	後見 3、保佐 1																								
R2 年度	3	後見 2、保佐 1																								
R1 年度	1	後見 1																								
H26 年度	1	保佐 1																								

		受任状況 単位：件 <table><tr><th>類型</th><th>受任</th><th>終了</th><th>管理(現在)</th></tr><tr><td>後見</td><td>11</td><td>4</td><td>7</td></tr><tr><td>保佐</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td></tr><tr><td>補助</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>合計</td><td>15</td><td>4</td><td>11</td></tr></table> ア 面接による本人状況確認 (ア) 適宜本人等と面談し状態確認を実施 (イ) 本人の状態に応じてサービス利用の相談、申請を行う。 イ 親族との情報共有 状況に応じ、親族と情報共有を行いながら支援を実施 ウ 財産管理 適宜財産状況を把握、収支状況の確認 エ 家庭裁判所との連携、定期報告 (ア) 家庭裁判所と情報共有を行い支援実施 (イ) 報告書の提出 (ウ) 報酬付与申立 ③ 運営委員会の開催 3月24日 ④ 他法人等との連携(地域後見ネットワーク) 出前講座を通し、他法人との課題共有を行う。	類型	受任	終了	管理(現在)	後見	11	4	7	保佐	4	0	4	補助	0	0	0	合計	15	4	11
類型	受任	終了	管理(現在)																			
後見	11	4	7																			
保佐	4	0	4																			
補助	0	0	0																			
合計	15	4	11																			
日常生活自立支援事業	① 日常生活自立支援事業 (釜石基幹社協への協力) 判断能力に不安を持つ方が安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きの援助や代行、日常的金銭管理などの支援について基幹社協と連携して取り組む	① 相談対応 ア 生活支援員の配置6名 イ 相談受付件数：5件 (高齢者：2件、障がい者：3件) ウ 新規契約者：2件 (高齢者：1件、障がい者：1件) エ 廃止者：5件 (高齢者：4件、障がい者：1件) 廃止理由：成年後見制度への移行、施設入所、死亡等 〈契約状況〉 単位：件 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">契約者数</th><th colspan="2">内訳</th></tr><tr><th>障がい</th><th>高齢</th></tr><tr><td>R6年度</td><td>21</td><td>12</td><td>9</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>24</td><td>12</td><td>12</td></tr></table> ② 利用者支援の実施 基幹社協専門員、生活支援員、支援関係者等と連携し支援を実施。	年度	契約者数	内訳		障がい	高齢	R6年度	21	12	9	R5年度	24	12	12						
年度	契約者数	内訳																				
		障がい	高齢																			
R6年度	21	12	9																			
R5年度	24	12	12																			
障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業	① 障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業(県受託事業) 障がい者等から不利益な取り扱い相談を受け、地域で暮らす障がいのある人の権利擁護を推進する	相談実績なし。																				

2 新たな支え合い活動拠点づくりの推進								
事業名	事業計画（概要）	実施状況						
(1) 担い手・ボランティア等の育成支援とプラットフォーム機能の強化								
ボランティア活動センター設置運営	① 新ボランティア活動センター設置運営 「ちょボラ」を地域共生の拠点として遠野まちおこしセンター（あすもあ遠野）に設置し、地域住民が自らボランティア活動への参加を促進するための育成及び資源開発など仕組み作りを支援する。また、駅前という立地を生かした「若者の福祉参加」の取組の充実を図る。 ② インフォーマルな資源開発に向けた取組み 丸ごと相談員、包括支援センター等の関係機関と連携し、地域における助け合い・支え合い活動の担い手（ボランティア）を創出する支援を行う ③ 福祉教育の推進 ア 福祉教育の充実 高齢、子ども、障がい等の様々な福祉教育メニューを実施する イ 福祉教育の実施	【決算】5,380 千円 ① 設置運営 ア あすもあ遠野に設置し、住民の参加しやすいボランティアセンターとして運営した。 イ ボランティア活動に関する主な事業 (ア) 24 時間テレビチャリティー募金活動 実施日 9 月 1 日 実績額 329,317 円 市内 3 カ所で活動実施 (イ) 手話講座開催 全 4 日間 受講者 10 名参加(内高校生 8 名) 講 師 盲ろう者相談員 菊池 直子氏 協 力 遠野手話サークルどんぐり (ウ) ボランティア保険加入促進 <table><tr><td>基本タイプ</td><td>723 名</td></tr><tr><td>天災タイプ</td><td>4 名</td></tr><tr><td>行事用保険</td><td>149 件</td></tr></table> (エ) 助成金等の斡旋 ボランティア連絡協議会総会等にて周知 (オ) その他目的達成に必要な事業 ・ボランティア運営委員会 ・遠野市ボランティア連絡協議会運営支援 ・ボランティアの活動支援 ウ 若者の福祉参加 (ア) 高校生ボランティアマッチング 37 名 ・子ども食堂やイベントへのボランティア参加を呼びかけ、高校生をマッチング。 ② 資源開発 ア ボランティア活動センター連絡会議（地域福祉課内会議）を月 1 回実施し、丸ごと相談員、関係機関と情報共有した。 イ 地域ケア会議や丸ごと会議に出席し、関連機関との情報共有ができた。 ③ 福祉教育の推進 ア 法人等連絡会において市民向けの出前講座を実施。 イ 福祉教育の実施	基本タイプ	723 名	天災タイプ	4 名	行事用保険	149 件
基本タイプ	723 名							
天災タイプ	4 名							
行事用保険	149 件							

		(ア) キャップ・ハンディ体験学習 ・ 上郷小学校 9/24 ・ 土淵小学校 10/8、11/5、11/8 ・ 宮守小学校 12/11 (イ) 遠野高校との連携 遠野高校生が行う「新しい遠野物語を創るプロジェクト」に参画し、新しい福祉教育プログラムの研究について授業を実施。 ・ 通年（全14日間の日程）
災害対応	① 災害を想定し、関係機関と協力し災害対応訓練を実施 ア 災害ボランティアセンター設置運営訓練 イ 災害時、遠野市との「災害ボランティアセンター設置運営協定」に基づく対応 ウ 遠野市協働での災害時支援及び復旧復興推進に向けた包括協定に基づく連携 ② 愛知県大口社協（災害協定締結社協）との連携	① 関係機関と協力し災害対応訓練を実施 ア 花巻社協と交互開催としている災害ボランティアセンター設置運営訓練を今年度は遠野市で開催。今年度は岩手県防災訓練と一体的に実施。 イ 遠野市協働での災害支援及び復旧・復興推進に向けた包括協定に伴う「遠野市5者連携ミーティング」（遠野市、遠野青年会議所、遠野山・里・暮らしネットワーク、遠野まごころネット、当会） ② 大口社協とのWEBミーティング1回 参加者 9名（大口社協参加者3名）
（2）小さな拠点における、新たな支え合い、住民福祉活動の推進		
ふれあい・いきいきサロン支援助成事業（市補助・共同募金配分事業）	① ふれあいいきいきサロン支援助成事業 高齢者の閉じこもり防止、介護予防、交流の場として各地域で開催するサロンを支援する	【決算】2,134千円 ① 活動費助成 ア 助成団体 26団体 イ 助成総額 2,020千円 ② 利用者送迎支援 支部社協単位で実施の3地区を対応 ③ 運動指導員（施設管理サービス）の派遣 実績15回 ④ サロン交流会 ・ 日 時：3/7 10:00～12:00 ・ 参加者：22名（14団体） ・ 内 容：グループワーク 補助金申請・報告書類に関する説明
生きがい活動支援通所事業（市受託事業）	① 生きがい活動支援通所事業（通称：サテライト事業） 高齢者の介護予防や健康づくり、生きがい活動の場として専任職員を配置して実施	【決算】24,895千円 ① 令和6年度は、新たに業務委託契約を結んだ看護師1名を配属し、利用者の健康相談に対応した。 市内コミュニティーセンターを中心に

		に 22 会場で実施したが、暑さ対策として夏季はエアコンが整備されている地区センターに会場を変更して実施した。 延利用者人数 2,950 名 (R5 年度 3,489 名)																																								
高齢者等の生活支援事業 (市受託事業・自主事業)	① 配食サービス事業 ア 「食」の自立支援 (市受託) イ 在宅支援食事サービス事業 (自主) ② 福祉有償運送事業 ア 外出支援サービス (市受託) イ 移送サービス (自主)	【決算】 10,348 千円 ① 配食サービス事業 調理・宅配ボランティアグループ「ほのぼの会」、東北電力「げんき会」、個人ボランティアの協力により事業を実施した。感染予防対策を徹底し、事業を休止せず継続した。 【配食数 (延べ)】 <table><tr><th colspan="2">ア「食」の自立支援事業 【市受託事業】</th><th colspan="2">イ 在宅支援食事サービス事業 【自主事業】</th></tr><tr><td>R6 年度</td><td>3,443 食</td><td>R6 年度</td><td>1,107 食</td></tr><tr><td>R5 年度</td><td>3,452 食</td><td>R5 年度</td><td>1,109 食</td></tr></table> 【決算】 6,656 千円 ② 福祉有償運送事業 歩行等が困難で一般交通機関を利用することが困難な方を対象に、リフト付きワゴン車等 3 台 (普通乗用車 2 台、軽乗用車 1 台) を使用し、運転手 6 名で対応した。 【利用者数 (延べ)】 <table><tr><th colspan="2">ア 外出支援サービス事業 【市受託事業】</th><th colspan="2">イ 移送サービス事業 【自主事業】</th></tr><tr><td>R6 年度</td><td>308 名</td><td>R6 年度</td><td>591 名</td></tr><tr><td colspan="2">(市内)</td><td>(市内)</td><td>461 名</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>(市外)</td><td>130 名</td></tr><tr><td>R5 年度</td><td>337 名</td><td>R5 年度</td><td>826 名</td></tr><tr><td colspan="2">(市内)</td><td>(市内)</td><td>646 名</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>(市外)</td><td>180 名</td></tr></table>	ア「食」の自立支援事業 【市受託事業】		イ 在宅支援食事サービス事業 【自主事業】		R6 年度	3,443 食	R6 年度	1,107 食	R5 年度	3,452 食	R5 年度	1,109 食	ア 外出支援サービス事業 【市受託事業】		イ 移送サービス事業 【自主事業】		R6 年度	308 名	R6 年度	591 名	(市内)		(市内)	461 名			(市外)	130 名	R5 年度	337 名	R5 年度	826 名	(市内)		(市内)	646 名			(市外)	180 名
ア「食」の自立支援事業 【市受託事業】		イ 在宅支援食事サービス事業 【自主事業】																																								
R6 年度	3,443 食	R6 年度	1,107 食																																							
R5 年度	3,452 食	R5 年度	1,109 食																																							
ア 外出支援サービス事業 【市受託事業】		イ 移送サービス事業 【自主事業】																																								
R6 年度	308 名	R6 年度	591 名																																							
(市内)		(市内)	461 名																																							
		(市外)	130 名																																							
R5 年度	337 名	R5 年度	826 名																																							
(市内)		(市内)	646 名																																							
		(市外)	180 名																																							
家族介護者支援対策事業	① 家族介護者教室開催事業 (市受託)	【決算】 131 千円 ① 家族介護者教室開催事業 ア 座ってできる簡単な足の体操とマッサージ講習会 ・附馬牛会場 日 程：令和 7 年 3 月 17 日 (月) 参加者：延べ 8 名																																								

		・上郷会場 日 程：令和 7 年 3 月 21 日（金） 参加者：延べ 16 名 ・小友会場 日 程：令和 7 年 3 月 24 日（月） 参加者：延べ 8 名 イ e-スポーツ体験会 ・薬研淵会場 日 程：令和 7 年 3 月 18 日（火） 参加者：延べ 5 名												
（３）高齢者・障がい者・児童、ひきこもり、依存症など領域を問わない拠点（居場所）づくりの推進														
ちょボラ	遠野まちおこしセンター指定管理事業	① 新遠野まちおこしセンター（あすもあ遠野）の管理運営 ア 施設の貸出 ① 会議室貸出 581 件 【内訳】営利 57 件、非営利 524 件												
	市民交流サロン「ちょボラ」運営	① 市民交流サロン「ちょボラ」運営 市民誰もが気軽に立ち寄り交流できる地域共生の拠点として運営 ア 展示コーナー イ 休憩場所 ① 展示コーナー。市民の皆様による展示を行った。ちょボラへ足を運んでいただくきっかけづくりにも繋がった。 ○市民交流サロン「ちょボラ」利用実績 <table><tr><td>年度</td><td>展示</td><td>来館者</td></tr><tr><td>R6 年度</td><td>8 件</td><td>642 人</td></tr><tr><td>R5 年度</td><td>10 件</td><td>683 人</td></tr></table>	年度	展示	来館者	R6 年度	8 件	642 人	R5 年度	10 件	683 人			
	年度	展示	来館者											
R6 年度	8 件	642 人												
R5 年度	10 件	683 人												
遠野市地域活動支援センター「カムカム」(Ⅲ型)の設置運営 (遠野市補助事業)	① 遠野市地域活動支援センター「カムカム」の運営 障がい者総合支援法に基づき、障がいのある人を対象として、創作的活動、生産活動、社会との交流促進の機会を提供し支援する 【処遇目標】 ① お便りの発行や電話相談等により、登録者の利用促進に努める。 ② 様々なプログラムを用意し、利用者の交流や学びに寄与する。	【決算】17,306 千円 ① 地域活動支援センター職員 2 名を配置した。茶話会やウォーキングなどの行事を実施し、障がい者の日中活動を支援するとともに地域の認知や理解が得られるよう努めた。 ② ピアスタッフ 2 名を配置した。自身の体験を基に障がい者の相談相手となり、ピアプログラムで交流を深めた。 ア 地域活動支援センター利用実績 <table><tr><td>年度</td><td>登録者数</td><td>利用延人数 (未登録者含)</td><td>相談件数</td></tr><tr><td>R6 年度</td><td>28 名</td><td>1,335 名</td><td>85 件</td></tr><tr><td>R5 年度</td><td>28 名</td><td>1,245 名</td><td>155 件</td></tr></table> イ 喫茶コーナー利用実績 令和 6 年度：1,836 名	年度	登録者数	利用延人数 (未登録者含)	相談件数	R6 年度	28 名	1,335 名	85 件	R5 年度	28 名	1,245 名	155 件
年度	登録者数	利用延人数 (未登録者含)	相談件数											
R6 年度	28 名	1,335 名	85 件											
R5 年度	28 名	1,245 名	155 件											

	ボランティア活動センター設置運営	2-(1) 【再掲】 「ボランティア活動センター設置運営」	2-(1) 「ボランティア活動センター設置運営」に掲載												
在宅障がい者交流事業 (自主事業)	① 在宅障がい者交流事業 障がい当事者や家族会、関係機関団体等と協力し、行事を実施	【決算】289千円 障がい当事者や家族会、関係機関団体等と協力し、行事を実施 ① バスハイク（宮城県気仙沼市） ア 遊覧船 10月27日 イ 参加者 15名 ② 乗馬体験 馬の里スポーツ少年団の協力で実施した。 全4回（6/9、7/14、8/25、9/1） 参加者 5名（実人数） ③ 令和7年はたちを祝う会 開催日：令和7年1月13日 対象者3名の他、家族や関係者等 60名の参加で20歳を迎えられる3名のお祝いを行った。 また、昼食には福祉団体等の協力により、豚汁とおにぎりを提供した。													
3 連携や協働の強化															
事業名	事業計画（概要）	実施状況													
(1) 暮らしを支えるあらゆる分野と横断的な連携を推進															
民生児童委員活動との連携	① 民生委員と連携を強化し地域福祉を推進	① 会長・副会長等連絡会に参加し情報共有を図った。 地区担当職員（丸ごと相談員・地域福祉課職員）が地区民協定例会に参加し情報共有に努めた。													
ふれあい農園事業	農園作業、ほうきづくりによる交流の場と趣味活動の場の創出 ① ふれあい農園の活用 ア 地域団体や関係機関との連携により農園作業の実施 ② 「マイほうき作り講座」の実施 ア 各地区でのほうき草栽培と「マイほうき作り講座」の実施	① 収穫には花巻清風支援学校中学部の生徒が参加した。 ② 「マイほうき作り講座」 受講者：14名 講師：2名 <table><tr><td></td><td>Aコース</td><td>Bコース</td></tr><tr><td>ほうき作り準備</td><td>11/27</td><td>11/28</td></tr><tr><td>ほうき作り</td><td>12/6</td><td>12/9</td></tr><tr><td>参加者</td><td>7名</td><td>7名</td></tr></table>			Aコース	Bコース	ほうき作り準備	11/27	11/28	ほうき作り	12/6	12/9	参加者	7名	7名
	Aコース	Bコース													
ほうき作り準備	11/27	11/28													
ほうき作り	12/6	12/9													
参加者	7名	7名													
日常生活用具貸与事業	生活用具を貸与することにより日常生活の便宜を図る ① 車イス 疾病や障がいにより歩行困難な方に対し、10日以内の貸出 ② 暖房器具 困窮等の理由により、冬季間の生活が	① 車イス <table><tr><td>年度</td><td>貸与件数</td></tr><tr><td>R6年度</td><td>43件</td></tr><tr><td>R5年度</td><td>36件</td></tr></table> 介護申請者が介護サービス利用までのつなぎとして、一時帰省時やイベント参加		年度	貸与件数	R6年度	43件	R5年度	36件						
年度	貸与件数														
R6年度	43件														
R5年度	36件														

	困難な方への緊急支援として貸出 ③ その他 要援護者や困窮者支援として必要な物品の検討、整備	時の利用などがあった。 また、ケガをした小中学生への貸し出しも行った。 ② 暖房器具 貸出実績なし ③ その他 ・冬季間の貸与品について検討 ・コンパクトな車イスを1台整備
(2) 災害時要援護者支援のため、平時から住民、行政、関係機関が連携し住民支え合いを強化		
地域福祉推進 基礎データ管 理運営業務	① 災害時要援護者の調査及び個別計画の作成 障がい者、要介護者、高齢者等に対し訪問調査を行い、災害時の避難行動について計画を作成する ② 個別計画の管理 各地区センター（福祉センター）毎に個別計画を保管し、閲覧の調整及び管理を行う	【決算】1,197千円 ① 調査件数 新規：188件 継続：768件 転出：5件 死亡：104件 合計：1,065件 ② 各地区センターで保管管理
災害時要援護者支援	① 住民支え合いマップを活用した地域資源と課題の把握、課題解決に向けた支え合い活動の見える化 ② 指定福祉避難所の開設、運営 ア 防災備品の計画的な備蓄 イ 開設時の職員配置（事業所間連携）	① 支え合いマップづくり・防災マップづくりと合わせて、13回実施。 避難場所、支援者を地域で確認し合う機会となった。また、避難方法や避難場所をまとめたものを地域住民に配布し、共有を図った地域があった。 ② 指定福祉避難所の開設、運営 ア 災害BCPに基づき、リスト化した備蓄品の確認を行った。 イ 開設時の職員配置等 台風5号への対応 ・令和6年8月11日（日）16:00 開設 ・令和6年8月12日（月）16:00 閉鎖 ・開設事業所：ふれあいホーム薬研淵 ・避難者：8名 ・対応職員：3名

4 広報・啓発活動		
事業名	事業計画（概要）	実施状況
(1) 福祉サービスや地域福祉活動の情報発信を充実		
情報発信の充実	① 広報委員会の運営 地区相談員や介護保険事業所等との連携を図る。また、必要に応じて法人間連携を図ることにより遠野の福祉促進の一手になる。 ② 福祉だよりの発行 ③ ホームページの更新 ④ 遠野TVの活用 ⑤ 新SNS活用の検討	【決算】1,212千円 ① 広報委員会の開催 6回 ② 福祉だよりの発行 ア 年6回、奇数月（第3木曜日） イ 8月臨時号（福祉バザー開催内容） ③ ホームページの更新 17回 ④ 遠野TVの活用 各種イベントや行事の際に遠野TVを活用した周知活動を行った。

	⑥ 地域の情報をより身近に発信できるよう、ホームページのリニューアル。	⑤ SNS 活用の検討 若年層への情報発信の手段として、SNS の活用を検討した。次年度の整備に向けて検討中。 ⑥ 福祉だよりへのアクセスを良くするため、バナーの位置をホーム画面上部に固定。
(2) 住民福祉活動や社協活動の循環等、また社協会費や共同募金等の循環の見える化を促進		
事業名	事業計画 (概要)	実施状況
活動と財源の循環、見える化促進	① 地域福祉推進のための財源として募金寄附の見える化、啓発活動	① 広報誌への共募事業等に係る掲載状況 年間 6 回 (毎号) 共募配分金による一般公募枠 事業実績 5 件 (486 千円) 赤い羽根共同募金実績額 6,307 千円 (令和 7 年度事業費配分額)

在宅福祉 (介護保険事業)

事業名	事業計画 (概要)	実施状況
(1) 介護保険事業の活動基盤等強化の取組		
持続可能な適正運営	① 介護保険システムの有効活用 (全事業所) 生産性向上、業務の効率化 ・タブレット端末の追加導入 (訪問介護) ・事業所間での情報共有 ・統計管理 (データ化の業簡素化) ② 遠野市公の施設指定管理運営 (期間: 令和 5 年 4 月～令和 8 年 3 月) ・ふれあいホーム 4 事業所 ・指定管理料による施設の維持、管理 ③ 新サービス向上のためのアンケート調査実施 (介護保険事業、障害福祉事業) ④ 居宅介護事業所 ア 新介護予防支援の指定の取得 イ ともり会職員出向による相談支援機能強化継続、相談対応環境の改善 (宮守) ⑤ ヘルパーステーション薬研淵 ・訪問入浴介護の事業継続の模索	① 居宅介護支援事業所とサービス提供事業所間の紙媒体によるやり取りは、前年度比でさらに減少。タブレット端末は訪問介護事業所で 10 台新規導入。 システム内での統計帳票管理が可能となり、管理業務が簡素化。 ② 修繕費を含む指定管理料 年額 7,400 千円 【内訳】修繕費 3,001 千円 保守料 4,399 千円 ③ 令和 7 年 1 月に実施 調査用紙配布数: 802 枚 調査用紙回収数: 729 枚 回収率 : 90.9% 結果公表 : 福祉だより (3 月号) 法人ホームページ ④ 居宅介護支援事業所 ア 令和 6 年 7 月から「指定介護予防支援事業所」として稼働開始。 イ ともり会より 2 名の在籍出向職員受け入れを継続。 相談室にエアコンを整備。 ⑤ ヘルパーステーション薬研淵 ア ターミナル期の利用者を中心に利用者の確保ができた。 イ 訪問入浴車輛の更新

	⑥ 訪問看護ステーションとおの ・医療機関との連携強化による、医療保険対象者の拡充 ⑦ 新介護報酬・障害福祉サービス・診療報酬改定の対応 ・新たな加算取得に向けた取組 ・科学的介護加算（LIFE 加算）の算定検討 ・新身体拘束適正化・高齢者虐待防止のための指針に基づく事業運営	（24 時間 TV より福祉車両の贈呈） ⑥ 訪問看護ステーションとおの ・ターミナル期の利者が増加傾向。 （令和 6 年度 791 件【前年比+82 件】） ⑦ 介護報酬改定の対応 ・生産性向上推進体制加算の新規算定に向け、ショートステイ上郷に見守りカメラを整備。 ・左記指針に基づき、虐待防止委員会（全体会、部門委員会）を開催し、情報共有を行った。
（２）介護職員等の処遇改善		
介護職員の処遇改善	① 職員の処遇改善を目指した加算及び補助金の取得 ・新介護職員等処遇改善加算（一本化）の対応	① 加算取得総額 36,170 千円 （支給対象：加算算定事業所全職員：94 名） 【内訳】 ・基本給の上乗せ : 22,500 千円 ・経験業務手当 : 6,872 千円 ・所属手当 : 3,924 千円 ・夜勤手当上乗せ : 1,440 千円 ・年度末一時金 : 1,200 千円 ・次年度への繰越金 : 234 千円
（３）事業が継続的に行われるための取組、福祉人材に対する指導力強化への取組		
感染対策の継続強化	① 感染対策指針及び事業継続計画（感染 BCP）の実践 ② BCP に基づく研修、訓練（シュミレーション）の実施	① 新型コロナウイルス感染症の 5 類移行を受け、BCP の一部改正を実施。 ② 各事業所単位で訓練及び研修を行い、復命や委員会の場で法人全体で情報共有できた。
災害事業継続に向けた取組の強化（災害 BCP）	① 災害 BCP に基づく研修の実施、訓練（シュミレーション）の実施 ア 災害時の職員行動指針の定着 イ 非常災害対策（消防計画、洪水避難計画など）の訓練の実施	① 各事業所単位で訓練及び研修を行い、復命書を通じて情報共有した。 令和 6 年 11 月 10 日、県の総合防災訓練で福祉避難所の設置運営訓練を実施。
インターンシップ等の受入れ推進	① 介護実習指導者講習の受講 ア 新カリキュラムを取得し、指導力を強化 イ 各種学校への情報提供、実習生の誘致 ② 若い世代（高校生）に目を向けた取組み ア 新有償ボランティアの募集及び導入	① 介護福祉士実習指導者講習 ア 受講者 2 名 ・全 25 時間のカリキュラムを履修し、実習生誘致に向けた準備を実施。 ② 実習生受入状況 ア 市内中学生福祉体験学習 : 2 名 イ 高校生の有償ボランティア : 41 名
（４）地域包括ケアシステムの推進		
認知症への対応力向上に向けた取組	① 職員の知識、技術向上 認知症介護実践者研修の受講 ② 認知症の人と家族の会開催事業、認知	① 認知症介護実践者研修 1 名 ② 認知症高齢者等徘徊 SOS ネットワ

	症高齢者等徘徊ＳＯＳネットワーク事業、認知症サポーター養成事業への協力	ーク事業について、登録者情報を遠野市と共有し、有事の際登録者情報を活用。
地域共生社会実現に向けた取組	① 通いの場における専門職による技術支援（作業療法士等）の継続 ※「地域介護予防活動支援事業におけるリハビリテーション専門職による技術支援業務」 ② 訪問介護、訪問入浴、通所介護事業所での障害福祉サービスの提供継続	① 訪問看護ステーションとおの所属作業療法士を通いの場へ派遣。 令和６年度 12 会場派遣 （令和５年度 15 会場派遣） ② ヘルパーステーション薬研淵（訪問介護、訪問入浴）、ふれあいホーム薬研淵・ふれあいホーム小友での受け入れを継続。
介護予防・日常生活支援総合事業	① 新訪問型サービスＣへの参入の検討 ア リハビリテーション専門職による自宅訪問で短期集中的な支援を実践	① 遠野市との協議の中で、通所型サービス（生きがい活動支援通所事業）の実施内容の見直しが優先されることとなり、訪問型サービスへの新規参入には至らなかった。

介護保険事業所関係

事業名	事業計画（概要）	実施状況												
（１）居宅介護支援事業所														
居宅介護支援事業所とおの	【運営目標】 ① 包括支援センター等と月１回ケース検討会を実施し、ケースの見立てや課題解決を検討する。 ② 地域の事業所等と協同して、研修会等を企画し、地域のケアマネジメント力の向上に努める。 ③ 個々の面談を懇切丁寧に対応する。 ④ 医療機関と連携し、適切な入退院の調整を図る 世帯の心配事に合わせて、必要な関係機関と連携を図り、課題解決に努める。	<table><tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>31,410 千円</td></tr><tr><td>予防/総合</td><td>1,703 千円</td></tr><tr><td colspan="2">給付件数（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>1,884 件</td></tr><tr><td>予防/総合</td><td>281 件</td></tr></table>	収入額（年間）		介護保険	31,410 千円	予防/総合	1,703 千円	給付件数（年間）		介護保険	1,884 件	予防/総合	281 件
		収入額（年間）												
		介護保険	31,410 千円											
		予防/総合	1,703 千円											
		給付件数（年間）												
介護保険	1,884 件													
予防/総合	281 件													
【運営目標】 ① 包括とのケース検討会５回開催。他、意見交換会や地域ケア会議等へ協力した。 ② 年３回他法人と共同で研修会や事例検討会を開催した。 介護支援専門員実務研修の実習受入を実施した。 ③ 世帯の状況に合わせた支援の調整を実施した。 ④ 医療機関からの退院調整等には積極的に対応し、必要な在宅支援を調整した。 また地域の丸ごと相談員と連携し、支援の調整をするケースもあり。														
居宅介護支援事業所上郷	【運営目標】 ① 適正な加算取得による安定した経営を目指す。 ② 事例検討会の機会を活用し、新規ケースの発掘に努める。 ③ ご利用者及びご家族、サービス事業所との面談や電話の際は、接遇を意識して	<table><tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>20,338 千円</td></tr><tr><td>予防/総合</td><td>2,122 千円</td></tr><tr><td colspan="2">給付件数（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>1,120 件</td></tr><tr><td>予防/総合</td><td>390 件</td></tr></table>	収入額（年間）		介護保険	20,338 千円	予防/総合	2,122 千円	給付件数（年間）		介護保険	1,120 件	予防/総合	390 件
		収入額（年間）												
		介護保険	20,338 千円											
		予防/総合	2,122 千円											
		給付件数（年間）												
介護保険	1,120 件													
予防/総合	390 件													

	の対応を行う。 ④ ご利用者及びそのご家族の支援を行う中から、地域課題の発見と必要とされるサービスを検討。 ⑤ 二地区の丸ごと相談員と事例検討会を通じ、地域との連携を深める。	【運営目標】 ① 新規対応、入退院(所)の加算を確実に取得できた。 ② 包括支援センターと合同で開催する機会を持ち、新規対応についての助言指導を得た。 ③ 身だしなみと言葉遣いに留意して対応できた。 ④ 引きこもり者情報等、丸ごと相談員と情報の共有は行えたが、新たなサービスの検討までは至らなかった。 ⑤ 民協定例会や支援調整会議で情報共有できたが、合同事例検討会を開催できなかった。																
居宅介護支援事業所宮守	【運営目標】 ① 法人連携による体制強化の継続を図り、特定事業所加算Ⅱの体制での質の高いサービス提供。 ② 医療機関・福祉施設等、関係機関の連携を密にし、在宅生活が困らないよう支援する。 ③ まるごと相談員と連携を取り、宮守地区の福祉の相談窓口の周知・支援を行う。 ④ わかりやすい制度・わかりやすいサービスの説明、わかりやすいケアプランの作成。 ⑤ 事例検討を重ね、事業所全体での複雑化した世帯への支援。	<table><tr><th colspan="2">収入額（年間）</th></tr><tr><td>介護保険</td><td>26,499 千円</td></tr><tr><td>予防/総合</td><td>1,842 千円</td></tr><tr><th colspan="2">給付件数（年間）</th></tr><tr><td>介護保険</td><td>1,461 件</td></tr><tr><td>予防/総合</td><td>344 件</td></tr></table> 【運営目標】 ① みやもり荘との連携継続により、特定事業所加算Ⅱを継続取得できた。 ② 入退院・入所・退所時に関係者と連携し取得可能な加算を取得し、利用者支援できた。 ③ 新規の相談内容として、在宅から療養型、施設への移行が増えている。 ④ 相談に来所した方などパンフレット等を説明し、制度やサービスの説明を行った。 ⑤ 包括、丸ごと、他機関を含めた事例検討を行った。	収入額（年間）		介護保険	26,499 千円	予防/総合	1,842 千円	給付件数（年間）		介護保険	1,461 件	予防/総合	344 件				
収入額（年間）																		
介護保険	26,499 千円																	
予防/総合	1,842 千円																	
給付件数（年間）																		
介護保険	1,461 件																	
予防/総合	344 件																	
（２）訪問介護事業所																		
ヘルパーステーション薬研淵	《訪問介護》 【運営目標】 ① 回転率を重視したご利用者の柔軟な受け入れ。 ② ご利用者の状態変化に伴う情報提供を迅速に行い、必要な支援に努める。 ③ 温かみのある対応と丁寧なサービス提供、傾聴に努める。	《訪問介護》 <table><tr><th colspan="2">収入額（年間）</th></tr><tr><td>介護保険</td><td>48,312 千円</td></tr><tr><td>総合事業</td><td>6,372 千円</td></tr><tr><td>障害福祉</td><td>6,557 千円</td></tr><tr><th colspan="2">給付件数（年間）</th></tr><tr><td>介護保険</td><td>10,570 件</td></tr><tr><td>総合事業</td><td>2,036 件</td></tr><tr><td>障害福祉</td><td>1,793 件</td></tr></table> 【運営目標】 ① 利用者対応は迅速に対応できた。新規利用者のない月もあり、回転率ではなく、必要とする利用者への対応を行った。 ② タブレットを導入し、記録も手書きではなくシステム入力により状況報告ができた。 ③ ターミナルの方、軽度の方等状態に	収入額（年間）		介護保険	48,312 千円	総合事業	6,372 千円	障害福祉	6,557 千円	給付件数（年間）		介護保険	10,570 件	総合事業	2,036 件	障害福祉	1,793 件
収入額（年間）																		
介護保険	48,312 千円																	
総合事業	6,372 千円																	
障害福祉	6,557 千円																	
給付件数（年間）																		
介護保険	10,570 件																	
総合事業	2,036 件																	
障害福祉	1,793 件																	

	《訪問入浴》 【運営目標】 ① 新規利用の受け入れを積極的に行う。 ② チームで協力し、ご利用者・ご家族の負担なく、喜んでいただける入浴に取り組む。 ③ 感染対策に留意し予防に努める。	合わせた対応を事業所全体として取り組んだ。 《訪問入浴》 <table><tr><th colspan="2">収入額（年間）</th></tr><tr><td>介護保険</td><td>4,899 千円</td></tr><tr><td>予防事業</td><td>9 千円</td></tr><tr><td>障害福祉</td><td>1,290 千円</td></tr><tr><th colspan="2">給付件数（年間）</th></tr><tr><td>介護保険</td><td>330 件</td></tr><tr><td>予防事業</td><td>9 件</td></tr><tr><td>障害福祉</td><td>102 件</td></tr></table> 【運営目標】 ① 積極的受け入れは行ったが、新規利用者が減少した。 ② 本人、家族に喜んでいただけるように心がけた。 ③ 感染予防対策には留意し、日程変更をするなど家族の体調も含め予防対策をとり対応できた。	収入額（年間）		介護保険	4,899 千円	予防事業	9 千円	障害福祉	1,290 千円	給付件数（年間）		介護保険	330 件	予防事業	9 件	障害福祉	102 件
収入額（年間）																		
介護保険	4,899 千円																	
予防事業	9 千円																	
障害福祉	1,290 千円																	
給付件数（年間）																		
介護保険	330 件																	
予防事業	9 件																	
障害福祉	102 件																	
（３）訪問看護事業所																		
訪問看護ステーションとおの	【運営目標】 ① 積極的に新規ご利用者を受け入れ柔軟なサービス提供に努める。 ② 医師、医療相談室、ケアマネ、各サービス提供事業所、他の関係機関との情報共有・連携に努め、状態変化時には迅速に対応する。 ③ サービス内容の均一化を図り、感染予防に努め、安心・安全なケアを提供する。 ④ ご利用者・ご家族が安心して在宅で過ごすことができるよう、わかりやすい丁寧な助言・ケアを行う。	<table><tr><th colspan="2">収入額（年間）</th></tr><tr><td>介護保険</td><td>18,304 千円</td></tr><tr><td>予防事業</td><td>5,778 千円</td></tr><tr><td>医療保険</td><td>7,864 千円</td></tr><tr><th colspan="2">給付件数（年間）</th></tr><tr><td>介護保険</td><td>2,812 件</td></tr><tr><td>予防事業</td><td>1,170 件</td></tr><tr><td>医療保険</td><td>791 件</td></tr></table> 【運営目標】 ① 急な相談でも新規利用者は全て受入れた。 ② その都度、情報共有・連携に努め、早めの対応ができた。 ③ 研修復命などサービス内容の均一化を図り、感染予防に努めながらケアを提供できた。 ④ 極力専門用語は用いず、わかりやすい言葉、表現を用いケアができた。	収入額（年間）		介護保険	18,304 千円	予防事業	5,778 千円	医療保険	7,864 千円	給付件数（年間）		介護保険	2,812 件	予防事業	1,170 件	医療保険	791 件
収入額（年間）																		
介護保険	18,304 千円																	
予防事業	5,778 千円																	
医療保険	7,864 千円																	
給付件数（年間）																		
介護保険	2,812 件																	
予防事業	1,170 件																	
医療保険	791 件																	
（４）通所介護事業所																		
ふれあいホーム薬研淵	【運営目標】 ① ご利用者の希望に沿ったサービスの実施。 ② 法人内の協力により個別機能訓練の強化。 ③ 安全に入浴し身体保清に努める。 ④ レク活動を通じ、刺激のある生活を送る。 ⑤ ご家族以外の方と会話する機会を持つ。	<table><tr><th colspan="2">収入額（年間）</th></tr><tr><td>介護保険</td><td>60,170 千円</td></tr><tr><td>総合事業</td><td>7,294 千円</td></tr><tr><td>障害福祉</td><td>2,170 千円</td></tr><tr><th colspan="2">給付件数（年間）</th></tr><tr><td>介護保険</td><td>7,100 件</td></tr><tr><td>総合事業</td><td>1,654 件</td></tr><tr><td>障害福祉</td><td>315 件</td></tr></table>	収入額（年間）		介護保険	60,170 千円	総合事業	7,294 千円	障害福祉	2,170 千円	給付件数（年間）		介護保険	7,100 件	総合事業	1,654 件	障害福祉	315 件
収入額（年間）																		
介護保険	60,170 千円																	
総合事業	7,294 千円																	
障害福祉	2,170 千円																	
給付件数（年間）																		
介護保険	7,100 件																	
総合事業	1,654 件																	
障害福祉	315 件																	

		【運営目標】 ① 利用者本人・家族の希望に沿って、臨時利用、複数回利用を実施できた。 ② 要介護者数の71%が個別機能訓練を実施できた。 ③ レク活動では軽体操を中心に利用者全員が取り組めるように支援できた。 ④ 職員一人一人が利用者に声掛けをするよう意識し、サービス提供できた。																
ふれあいホーム 小友	【運営目標】 ① ご利用者の柔軟な受け入れ。 ② 地域、関係機関との密な連携。 ③ 経営安定に向けた効率良い稼働への取組。 ④ ご利用者の個性を尊重し、丁寧な言葉使いの徹底。 ⑤ ご利用者が自ら選択できるレク活動の実践。	<table><tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>36,851 千円</td></tr><tr><td>総合事業</td><td>3,944 千円</td></tr><tr><td>障害福祉</td><td>414 千円</td></tr><tr><td colspan="2">給付件数（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>4,777 件</td></tr><tr><td>総合事業</td><td>932 件</td></tr><tr><td>障害福祉</td><td>57 件</td></tr></table> 【運営目標】 ① 臨時利用の受入れを柔軟に行った。 ② 関係機関との情報共有を行った。 ③ 臨時利用の受け入れなどを行ったが、安定した経営に結びつけることができなかった。 ④ 職員研修により接遇向上に努めた。 ⑤ ご利用者が選択できるようにレク内容を見直したが、希望するレク内容は同じものとなっていた。	収入額（年間）		介護保険	36,851 千円	総合事業	3,944 千円	障害福祉	414 千円	給付件数（年間）		介護保険	4,777 件	総合事業	932 件	障害福祉	57 件
収入額（年間）																		
介護保険	36,851 千円																	
総合事業	3,944 千円																	
障害福祉	414 千円																	
給付件数（年間）																		
介護保険	4,777 件																	
総合事業	932 件																	
障害福祉	57 件																	
ふれあいホーム 附馬牛	【運営目標】 ① 新規利用者を積極的に受け入れ、臨時利用、利用回数等柔軟な対応をする。 ② 民協定例会や地域サロンへの参加を積極的に行い、地域に密着した運営を目指す。 ③ ご利用者一人ひとりを尊重し、懇切丁寧なサービスの提供をする。 ④ 住民が気軽に立ち寄れる環境作りやイベントの開催をする。	<table><tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>30,112 千円</td></tr><tr><td>総合事業</td><td>1,745 千円</td></tr><tr><td colspan="2">給付件数（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>3,318 件</td></tr><tr><td>総合事業</td><td>388 件</td></tr></table> 【運営目標】 ① 新規11名、除籍15件、臨時利用等柔軟な受け入れ対応ができた。 ② 民児協参加、地区センターと合同避難訓練を実施した。 ③ 利用者を尊重し、丁寧なサービスを心がけ対応できた。 ④ 文化祭、ふれあいランチの実施で住民との交流ができた。	収入額（年間）		介護保険	30,112 千円	総合事業	1,745 千円	給付件数（年間）		介護保険	3,318 件	総合事業	388 件				
収入額（年間）																		
介護保険	30,112 千円																	
総合事業	1,745 千円																	
給付件数（年間）																		
介護保険	3,318 件																	
総合事業	388 件																	
ふれあいホーム 上郷	【運営目標】 ① 関係機関との連携を密に行い、積極的に新規利用者の受け入れを行う。 ② 稼働率を上げられるように追加利用・臨時利用の調整を行う。 ③ 経費節減の意識を高め、節電節水、冷暖房の適宜切り替えを行う。 ④ 接遇マナーを守り、ご利用者への丁寧な声掛けと対応を行う。	<table><tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>44,453 千円</td></tr><tr><td>総合事業</td><td>5,215 千円</td></tr><tr><td colspan="2">給付件数（年間）</td></tr><tr><td>介護保険</td><td>5,899 件</td></tr><tr><td>総合事業</td><td>1,169 件</td></tr></table> 【運営目標】 ① 新規利用者の受け入れは積極的に行	収入額（年間）		介護保険	44,453 千円	総合事業	5,215 千円	給付件数（年間）		介護保険	5,899 件	総合事業	1,169 件				
収入額（年間）																		
介護保険	44,453 千円																	
総合事業	5,215 千円																	
給付件数（年間）																		
介護保険	5,899 件																	
総合事業	1,169 件																	

		った。 ② 市内CM事業所へ対応地域拡大等の営業を行った。追加・臨時利用の対応は都度行った。 ③ 節電の取組を特に行い、前年度比で使用量を下げることができた。 ④ 朝礼終礼や職員会議の場で接遇に関することを取り上げ、意識付けた。												
（５）短期入所生活介護事業所														
ショートステイ 上郷	【運営目標】 ① 新規利用、緊急利用など、空き状況の情報提供により受入体制の強化に努める。 ② 安定した稼働率のため、定期利用者の確保に努める。 ③ ご利用者の健康維持を図るため、迅速、適切な対応に努める。 ④ 接遇マナーを意識し、丁寧な言葉づかいで対応する。	<table><tr><th colspan="2">収入額（年間）</th></tr><tr><td>介護保険</td><td>61,022 千円</td></tr><tr><td>総合事業</td><td>1,378 千円</td></tr><tr><th colspan="2">給付件数（年間）</th></tr><tr><td>介護保険</td><td>6,257 件</td></tr><tr><td>総合事業</td><td>157 件</td></tr></table> 【運営目標】 ① 積極的に新規利用者の受入れ、緊急時の対応を行い、体制強化に努めた。 ② 定期利用者の確保に努め、安定した稼働率を維持できた。 ③ 看護師を中心に、迅速な対応や健康維持に努めた。 ④ 常に接遇を意識し、状況に合わせた対応ができた。	収入額（年間）		介護保険	61,022 千円	総合事業	1,378 千円	給付件数（年間）		介護保険	6,257 件	総合事業	157 件
収入額（年間）														
介護保険	61,022 千円													
総合事業	1,378 千円													
給付件数（年間）														
介護保険	6,257 件													
総合事業	157 件													

共同募金関係

1 概 要

民間社会福祉事業の一翼を担う活動として市民のたすけあいによる募金の推進と地域福祉の充実を進め、誰もが住みなれた地域で安心して生活することができる地域社会を構築するため、多くの市民の皆さまや関係機関のご協力をいただき実施しました。

また、市内福祉団体への助成業務と、歳末たすけあい募金における支援を必要とする市民に対し激励金の配分を実施しました。

その他、「赤い羽根アクションプランいわて」の基本方針に基づき、募金運動を実施しました。

2 令和6年度赤い羽根共同募金運動の結果について

募金目標額 6,668,000 円（前年度 6,927,000 円）

募金実績額 6,542,051 円（前年度 6,601,075 円）

目標達成率 98.11%（前年度 95.29%）

【募金内訳】

区 分	令和6年度		令和5年度	
(1)戸別募金	7,696 件	3,829,200 円	7,675 件	3,803,000 円
(2)大口募金	613 件	1,226,500 円	658 件	1,342,000 円
小計 (支部募金合計)	8,309 件	5,055,700 円	8,333 件	5,145,000 円
(3)企業（法人）募金	164 社	837,000 円	168 社	862,000 円
(4)街頭募金	5 件	28,688 円	6 件	24,484 円
(5)学校募金	15 校	270,111 円	16 校	210,828 円
(6)職域募金	20 件	120,928 円	18 件	121,162 円
(7)興行募金	14 件	100,221 円	8 件	107,952 円
(8)個人・団体募金	0 件	0 円	0 件	0 円
(9)その他	35 件	129,397 円	30 件	129,637 円
小計 (事務局受付分)	253 件	1,486,345 円	246 件	1,456,063 円
(10)預金利息	2 件	6 円	2 件	12 円
合 計	8,564 件	6,542,051 円	8,581 件	6,601,075 円

総 括

赤い羽根共同募金運動は、10月1日から12月31日までの3ヶ月間行われ、市民の方々の募金協力をはじめ、自治会長、班長、民生児童委員、地区センター等の協力をいただきました。

今年度も「赤い羽根アクションプラン」を受け、目標額を前年度実績より1%増の6,608千円としました。目標達成率は98.11%であり目標額に達することはできませんでした。

例年、大口募金協力者が減少傾向にありますが、今年度においても大口募金協力世帯数の減が大きく、全体的な減額要因となりました。

また、興行募金については、福祉バザー会場においてキッチンカー等による食事の販売も行われ、バザーだけに留まらない新たな形式での開催を実施することができました。

3 令和6年度歳末たすけあい運動の結果について

募金目標額 2,628,000 円（前年度 2,597,000 円）

募金実績額 2,502,518 円（前年度 2,601,792 円）

目標達成率 95.23%（前年度 100.18%）

【募金内訳】

区 分	令和6年度		令和5年度	
(1) 戸別募金	8,104 件	2,431,000 円	8,187 件	2,456,350 円
(2) その他（団体）	4 件	71,518 円	4 件	88,750 円
(3) その他（演芸祭）	0 件	0 円	1 件	56,692 円
(4) 預金利息	0 件	0 円	0 件	0 円
合 計	8,108 件	2,502,518 円	8,192 件	2,601,792 円

※ 一般募金および地域歳末たすけあい募金収納中に生じた預貯金利息は、一般募金の実績に含めることとなっています。

① 配分実績額 1,050,000 円

【配分内訳】

区 分	令和6年度		令和5年度	
(1) 一人暮らし高齢者	87 件	450,000 円	107 件	550,000 円
(2) 高齢者夫婦世帯	29 件	145,000 円	33 件	165,000 円
(3) 要介護者世帯	38 件	195,000 円	56 件	280,000 円
(4) 母子・父子世帯	17 件	85,000 円	20 件	100,000 円
(5) 遺児世帯	0 件	0 円	1 件	5,000 円
(6) 里親世帯	1 件	5,000 円	1 件	5,000 円
(7) その他要支援世帯	32 件	170,000 円	47 件	235,000 円
※ 増額世帯（重複）	(6 件)	(30,000 円)	(3 件)	(15,000 円)
合 計	204 件	1,050,000 円	265 件	1,340,000 円

※ 「増額世帯」は他区分と重複しているため、合計件数から除いています。

② 事務配分費 103,000 円

③ 配分剰余金 1,349,518 円

総 括

歳末たすけあい募金運動は12月1日から12月31日までの1ヶ月間行われ、赤い羽根共同募金運動と同様に市民の皆様の募金協力をはじめ、自治会長、班長、民生児童委員、地区センター等の協力をいただき募金活動、激励金の配分を実施しました。

歳末たすけあい募金運動においても、目標額を前年度実績より1%増の2,628千円としました。目標達成率は95.23%であり目標額に達することはできませんでした。

激励金配分については、令和3年度の配分基準変更以降は年々微増傾向にありましたが、今年度については対象者が減少となりました。

4 災害義援金について

令和6年度に本会で受け付けた災害義援金の実績は下記のとおりとなります。

なお、受け付けた義援金は岩手県共同募金会を通して当該県の共同募金会、配分委員会を通じて被災者の方へ全額配分されております。

(単位：円)

名称	募集期間	義援金額
能登半島地震災害義援金	令和6年4月1日～3月31日	368,783
大船渡市赤崎町林野火災義援金	令和7年3月6日～3月31日	3,360
合 計		372,143

【内訳】

能登半島地震災害義援金		大船渡市赤崎町林野火災義援金	
寄付者	金額	寄付者	金額
土淵まちづくり協議会	34,114	遠野おおつち会	3,360
ねまるべ遠野	293,241	合計	3,360
風の丘	30,360		
社協小友支部	7,047		
その他（箱、利息）	4,021		
合計	368,783		

5 令和6年度募金実績による配分（令和7年度事業として受配）

(単位：千円)

共同募金配分金事業内訳

区 分		内 容		
共同募金配分金				
内 訳	事 業 名		予算額(千円)	
			事業総額	うち配分金
	配分金 事業	福祉バザー開催事業	220	220
		心配ごと相談運営事業	220	220
		広報・調査活動事業	900	900
		一人暮らし高齢者交流事業（交流会・友愛活動）	700	700
		ふれあいいきいきサロン事業	2,400	1,460
		ふれあいホーム利用者送迎支援事業	400	400
		障がい者等福祉団体運営	707	707
		（うち障がい者福祉団体助成等）	(215)	(215)
		（うち民生児童委員活動助成）	(442)	(442)
		（わらすっこまつり助成事業）	(50)	(50)
		支部社協活動助成事業	900	900
		一般公募団体助成	700	700
		ボランティア活動拠点支援	100	100
		小 計		7,247
			事業総額	うち募金
募金事業	歳末たすけあい配分金事業(激励金)	1,500	1,500	
合 計		8,747	7,807	